

ガーデンシュレッダー

Garden Shredder

取扱い・組立説明書



目次

●安全にご使用いただくために	1~2
●仕様	3
●各部の名称と付属品	3~4
●組立方法	5~6
●延長コードについて	7
●使用方法	7
●安全装置について	8
●粉碎刃のメンテナンス	9
●保守と点検	10
●トラブルの原因と対策	10

●2重安全装置付●

- 1 本体カバー安全スイッチ
- 2 モーター過負荷防止ブレーカー

●使用用途：剪定枝木の粉碎※

※他の用途には使用しないでください。

※本機はDIY商品として開発された商品です。一般の家庭用としてお使いください。



警告

安全のため必ずこの取扱い・組立説明書をよくお読みください。
本機の使用方法を誤りますと、ケガをするなど大変危険です。

安全にご使用いただくために

ガーデンシュレッダー YGS-30B を、お買い上げいただきましてありがとうございます。ご使用前に必ず、この取扱い・組立説明書を良くお読みいただき、警告及び注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。また、お読みになった後も、この取扱い・組立説明書をすぐに取り出せる場所へ大切に保管しておいてください。

※ここに示した警告及び注意事項は、製品を安全に正しくお使い頂き、ご使用される方や他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために誤った取扱いをするとう生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区別しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。



警告

誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負ったり、重大な物的損害事故の可能性が想定される内容を示します。



注意

誤った取扱いをすると、人が傷害を負ったり物的損害の発生が想定される内容を示します。

図記号の意味



禁止行為であることを告げるもので、近傍に具体的な内容を説明しています。



行為を強制したり指示をするもので、近傍に具体的な内容を説明しています。

警告

使用前に本機各部を点検して各部にネジの緩みがないか、各部に損傷がないか、正常に動作するか確認してください。本機の輸送途中の衝撃等により、本機の破損、変形、溶接部の外れや、取付部品の損傷等により、思わぬ事故につながる恐れがありますので、ご使用前に必ず確認し正しい状態でご使用くださいますようお願い致します。

作業に適した服装で使用してください。

長い髪は帽子やヘアカバー等で覆ってください。ネクタイ・ネックレス・袖口の開いた服装等は可動部に巻き込まれる恐れがありますので着用しないでください。作業者は長袖・長ズボン、滑り止めがついている靴(安全靴)、保護メガネ、ヘルメットまたは保護帽子、厚手の手袋等を必ず身に付けてください。身につけると、処理物が飛散した時等、思わぬ事故の原因となります。

始動する前はシュレッダー内にスパナ等工具や部品の置き忘れがないか確認してください。故障・重大な事故の原因となります。

使用電源は銘板に表示してある電圧で使用してください。(この機械は 100V です)

電源プラグを差し込む前に、電源スイッチが OFF になっている事を確認してください。



雨の中、湿った場所、濡れた場所での使用・放置はしないでください。水洗いしないでください。感電の原因、モーター損傷の原因となります。



濡れた手でスイッチ、電源プラグに触れないでください。感電の原因、モーター損傷の原因となります。



揮発性可燃物(灯油・ガソリン・シンナー等)や可燃物の近くで使用しないでください。引火・爆発の恐れがあり大変危険です。



次の作業の場合は、電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。電源プラグが入ったままだと誤ってスイッチが入り、不意に動き出してけがや重大な事故の原因となります。

- ・メンテナンス(本機内の木屑又は異物を取り除く、粉砕刃の交換等)を行う時
- ・調整、点検を行う時、10 ページ「トラブルの原因と対策」の対策を行う時
- ・本機を持ち運ぶ時
- ・本機を使用しない時、保管する時
- ・その他、不意に動き出すと危険な時

❗	必ずアース線を接地して使用してください。
⊘	アース線をガス管等に接続しないでください。爆発の恐れがあります。 お子様や使用方法が分からない方には絶対に使用させないでください。 小さなお子様を本機に近づけさせないでください。 作業中は作業員以外、機械に触れさせないでください。 作業員以外、作業場 3m 以内へ近づけさせないでください。 重大な事故の原因となります。
❗	本機は水平に保ち、安定した場所で使用してください。 転倒するような場所では故障・重大な事故の原因となります。
⊘	枝木投入口や排出口に手を入れたり顔を近づけたり、直接のぞかないでください。 重大な事故の原因となります。 本機を指定された用途以外で使用しないでください。 故障・重大な事故の原因となります。
⊘	電源コードや電源プラグを傷つける行為をしないでください。 無理に曲げる・引っ張る・ねじる・挟み込む・重いもの等を上にのせる・加工する等はしないでください。電源コードが破損し火災・感電の原因になります。
⊘	回転盤の回転中は、本体を絶対に開けないでください。 大変危険です。重大な事故の原因となります。電源スイッチを切り電源プラグを抜いて、回転盤が完全に停止したことを確認してから、本体カバーを開けてください。
❗	粉碎時は枝木が振動するので、ケガ等しないように注意してください。 枝木を投入し、粉碎し始めますと、枝木が大きく振動し危険です。
⊘	作業を中断するときや、その場を離れるときは電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。不意な始動は避けてください。重大な事故の原因となります。
⊘	電源コードが破損したり部品が損傷した状態では、絶対に使用しないでください。 感電及びショートの原因や、重大な事故の原因となり大変危険です。
⊘	お客様ご自身での修理、改造は絶対にしないでください。 重大な事故の原因となります。
❗	本機が熱くなったり、異常が感じられた場合は直ちに使用を中止してください。 お買い求めの販売店、又は山善技術センターに点検、修理をお申し付けください。

⚠ 注意

⊘	無理な姿勢での使用はしないでください。 事故、けが等の原因となります。
❗	作業する場所はいつもきれいに保ってください。 ちらかった場所は事故、けが等の原因となります。 粉碎する材料の中に、異物が含まれないように注意してください。金属・岩石・ビン・缶等の異物が入ると故障したり飛散したり事故の恐れがあります。 作業時は動作音・粉碎音が出ます。周囲に迷惑をかけないように使用してください。 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たないで電源プラグを持って抜いてください。 使用しない場合は、子供の手の届かない安全な場所・乾燥した場所に保管してください。

- お願い
- 本機は剪定枝木専用です。繊維質のつる草や草花は入れないでください。
回転盤にからまり正常に作動しない場合があります。
 - 建築資材や角材、太い木を割った薪等はいれしないでください。
乾燥した硬木や、非常に硬い木は粉碎できません。
 - 竹類など繊維質の強い枝木は粉碎できません。
 - 注意に表記している内容でも、状況によっては死亡・重症等の重大な事故につながる恐れがありますので必ず守ってください。
 - 本機は日本国内専用です。海外では使用しないでください。

仕様

型番	YGS-30B	定格時間	25分(注1)
電圧	100V	本体サイズ	幅425×奥行510×高さ885mm
周波数	50/60Hz	コード長さ	4m
消費電力	1500W	本体重量	約18kg
電流	15A	最大粉碎能力	φ30mm(注2)
回転数(無負荷時)	3100/3550r.p.m	粉碎バック容量	45L

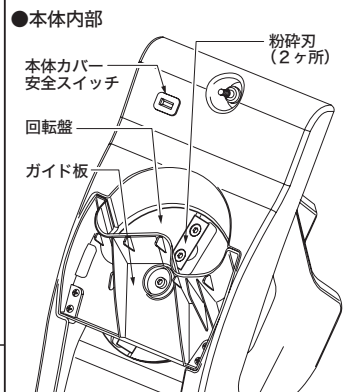
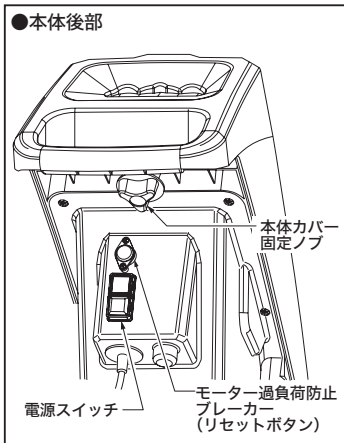
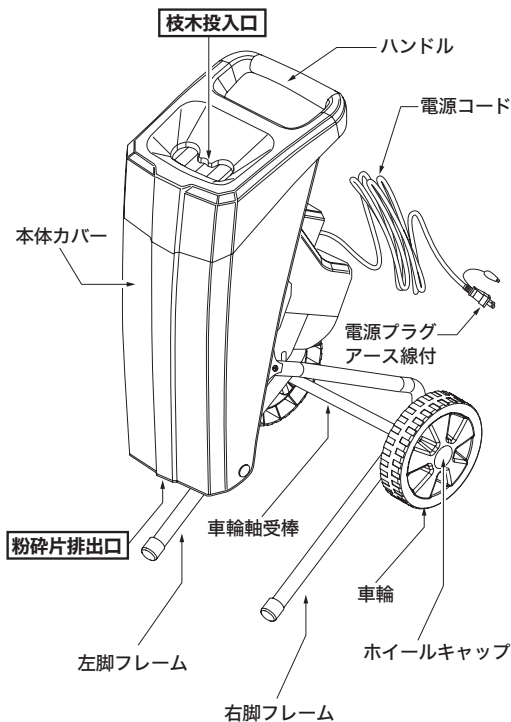
※ 改良の為、製品の仕様・外観が変わる場合がございます。

(注1) 気温20度を基準に設定させて頂いております。外気温が20度を大きく超える場合は更に短い時間で本機を休ませながらご使用ください。モーター焼けの原因となります。

(注2) 最大粉碎能力は、枝木の種類・状態によって異なります。

※ 枝木は3ミリ前後の厚みで粉碎されますが、粉碎する角度によって粉碎片の大きさは異なります。

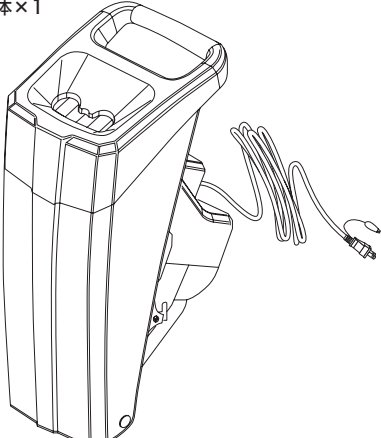




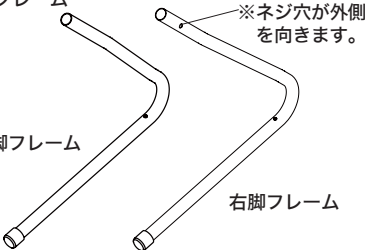
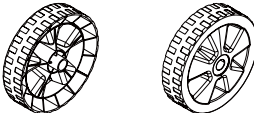

各部の名称と付属品





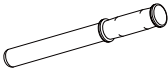

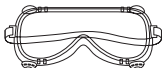

本体カバーを閉じて本体カバー固定ノブをしっかりと締め付けしないと電源スイッチが入らないように安全装置機能が備えられています。8ページの「安全装置について」を参照ください。

梱包内容をご確認ください。

本体及び付属品

<p>①本体×1</p> 	<p>③-1 脚固定ネジ×2 (六角穴)</p>  <p>③-2 車輪軸受棒×1</p>  <p>③-3 車軸止めネジ×2 (六角穴)</p>  <p>③-4 車軸止めナット×2 (10mm)</p> 
<p>②脚フレーム</p> <p>※ネジ穴が外側を向きます。</p> <p>左脚フレーム</p> <p>右脚フレーム</p> 	<p>④車輪×2</p>  <p>⑤ホイールキャップ×2</p> 

付属品

<p>⑥粉砕片バッグ×1</p> 	<p>⑨スパナ×1 10mm</p> 
<p>⑦押し込み棒×1</p> 	<p>⑩六角レンチ×1 4mm</p> 
<p>⑧保護メガネ×1</p> 	<p>⑪取扱い・組立説明書(本書)</p> 

組立方法



組立時は、必ず丈夫な手袋を着用してください。
ケガをしないように保護具を着用ください。



組立時は、電源プラグをコンセントにつながないでください。
機械が不意に動き出してケガや重大な事故の原因となります。



組立中ケガをしないようご注意ください。本機は重量があります。横倒しにする際は手を滑らせたり、ケガをしないようご注意ください。

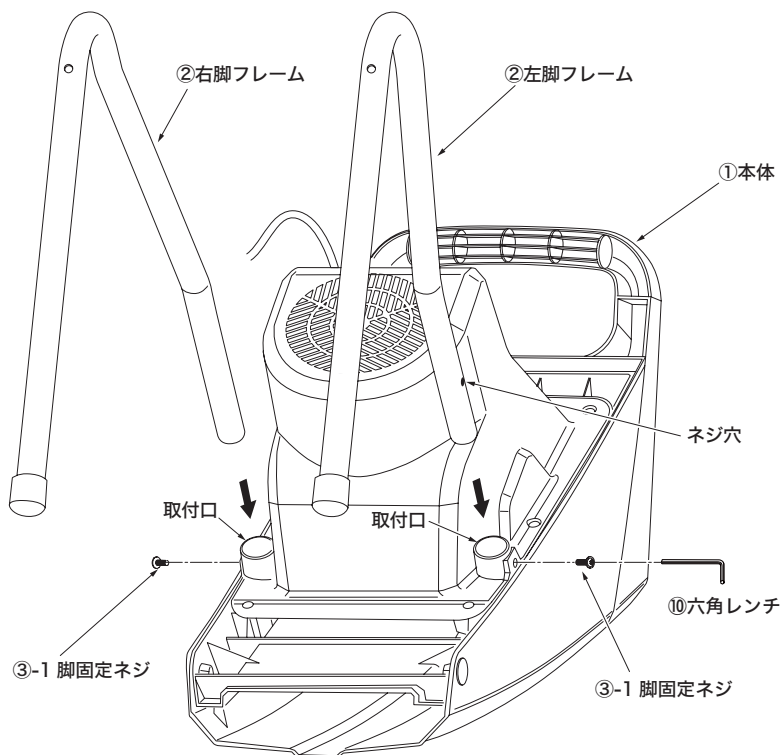
周囲に傷をつけないようにしてください。組立作業をする際には、床やテーブルに毛布等を敷き傷をつけないようご注意ください。

1 脚の取付け方

脚フレームの取付けには、付属の六角レンチをご利用ください。

脚フレームは、本体下の取付口2ヶ所にそれぞれネジ穴が外側を向くように差し込んでください。
取付口側面の穴と脚フレームのネジ穴を合わせ、脚固定ネジで2ヶ所を締め付けてください。(図1)

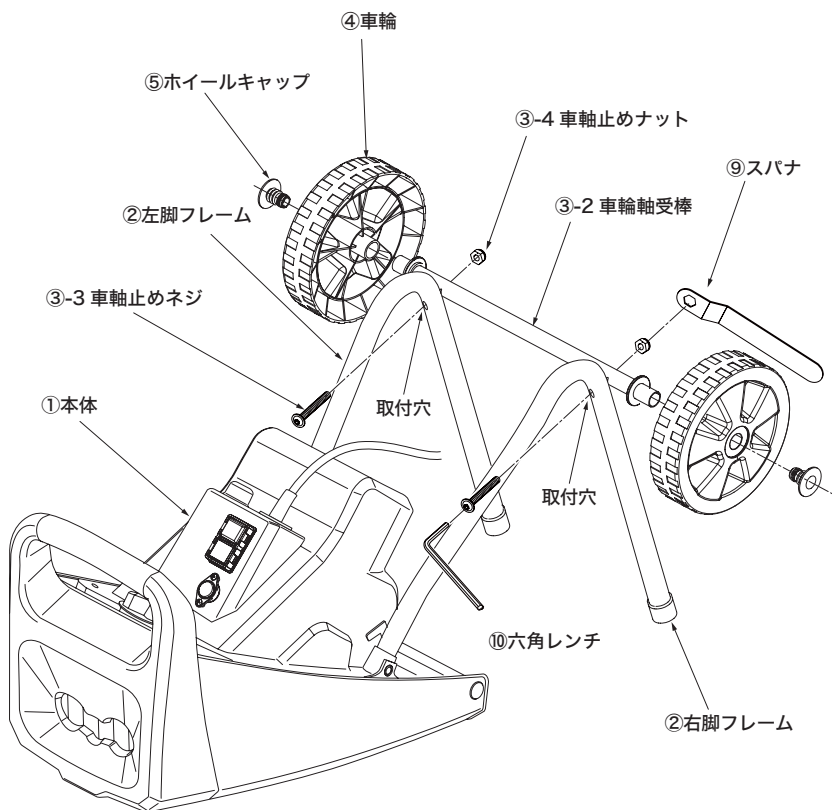
図1 脚フレームを差し込み、脚固定ネジで固定 ※脚フレームは右と左があります。



2 車輪の取付け方

脚フレームと車輪軸受棒の取付けには、付属の六角レンチとスパナをご利用ください。
車軸止めネジを脚フレームと車輪軸受棒の取付穴に通し、車軸止めナットを締め付けてください。
取付けた車輪軸受棒の両端に車輪を通して、ホイールキャップを差し込み固定してください。(図2)
ホイールキャップの取付けが堅い場合は、樹脂製のハンマーなどで軽くたたいてください。

図2 車輪軸受棒と車輪を取付ける



延長コードについて

- 本機の電源は100V 15A 単独で必要です。電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の効率でご使用いただくために、できるだけ短く十分な太さの延長コードをご使用ください。

(下表参照)

延長コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さ	延長コードの太さ(導体公称断面積) 1.25mm ² 以上	延長コードの長さ 10m以内
------------------------	--	----------------

- ※細い延長コードや1つのコンセントで複数の電気器具をご使用になりますと、電気容量不足で正常な回転をしない事があります。
- ※ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱及び電圧降下を防止するため、コードはすべてドラムから引き出してご使用ください。

使用方法

- 本書1～2ページの「安全にご使用いただくために」をお読みいただき警告・注意事項を厳守して安全に正しくご使用ください。



点検の際は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

作業前には必ず点検をしてください。各部にネジの緩みがないか、損傷がないか、正常に作動するか確認し、点検後は本体内部にスパナ、ドライバー等工具の置き忘れがないか確認してください。

本体内部に異物がないか確認してください。点検は必ず本体内部に金属・岩石・カン等の異物が入っていないかご確認いただき、それらを取り除いてください。

電源プラグを差し込む前に、電源スイッチが切れているか確認してください。電源スイッチが入ったまま電源(延長コードや電源コンセント)に接続すると不意に動き出し、重大な事故になる恐れがあります。又、使用後は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

作業時は、保護具を着用してください。保護メガネや防塵マスクと丈夫な手袋をご使用ください。

本体カバー固定ノブは正しくしっかり締めつけてください。重大な事故になる恐れがあります。

必ずアース線を設置して使用してください。

1 粉碎作業

1. 粉碎片を受ける準備をしてください。粉碎片バッグをひろげ、粉碎片排出口を覆うようにして本体両脇のフックに引っ掛けてください。(図3) 枝木の直径が30mmまで投入できます。作業前に枝木投入口に入るように横枝をなるべく取り払っておいてください。
2. 電源プラグをコンセントに差し込み、アース線を接地してください。電源スイッチの上を押しONにするると回転盤が回転しはじめます。
3. 電源を入れて回転盤の回転が安定したら、ハンドルをしっかり持ちながら、枝木投入口より枝木を投入し粉碎してください。太い枝木は枝木投入口の左側から投入してください。(図4)
4. 投入した枝木が短くなった場合や小枝・細枝を投入した際には付属の「押し込み棒」で枝木投入口から押し込んで粉碎してください。(図5)
5. 停止をするときは電源スイッチの下を押しOFFにしてください。

スムーズに枝木の粉碎作業をするために

- ・太い枝木は、枝木の細い方から投入すると粉碎が容易にできます。
 - ・短い枝木は長い枝木と共に、筒状にまとめて縦に投入してください。
 - ・水分を多く含んだ枝木は、乾燥させてから投入してください。(土や泥は取り払ってください。)
- 注1) 定格時間(25分)以上連続運転しないでください。適度に本機を休ませながら粉碎してください。
- 注2) 枝木投入の際、一度に大量投入したり無理な押し込みをすると、つまりの原因となり、モーターに過剰な負荷がかかります。過剰な負荷がかかると、モーター過負荷防止ブレーカーが動き停止します。本機の復帰方法については次ページの「安全装置について」を参照ください。

図3

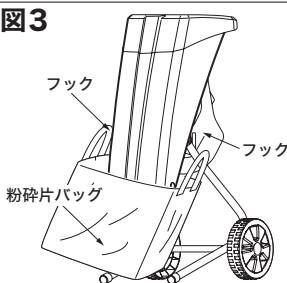


図4

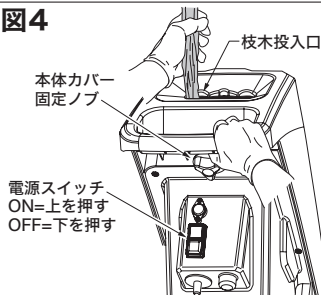
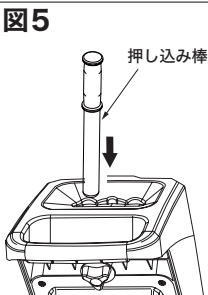


図5



安全装置について



本体カバーを開ける場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて回転盤の回転が止まったことを確認してください。電源スイッチを入れたまま、または回転盤の回転中は本体カバーを開けしないでください。重大な事故の原因となります。

本体カバーを閉める際は、本体カバー固定ノブを正しくしっかり締めつけてください。ノブの締めつけがゆるいと、使用中の振動で本体カバーが開き重大な事故の原因となります。

作業時は、保護具を着用してください。保護メガネや防塵マスクと丈夫な手袋をご使用ください。

●本体カバー安全スイッチ

本体カバー固定ノブを緩め、本体カバーを開けると、安全装置が働き電源スイッチを入れても作動しません。

運転の際は、本体カバーを正しく閉め、本体カバー固定ノブを十分に締め付け固定して使用してください。(図6)

●モーター過負荷防止ブレーカーが働いた場合の復旧方法

枝木を無理に押し込んで、モーターに負荷がかかり過ぎた場合や、木屑が回転盤に挟まったり、湿気の多い枝木の粉碎屑が落下せず回転盤に多量に付着し、モーターに過剰な負荷がかかった場合にモーター過負荷防止ブレーカーが働き停止します。(図7)

モーター過負荷防止ブレーカーが働き停止した場合は下記の手順で復旧してください。

(1) 木屑等を取り除くには、必ず電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜いてください。

(2) 本体カバー固定ノブを緩め、本体カバーを開けてください。(図8)

(3) 本体内部の木屑等を完全に取り除いてください。

(4) 本体カバーを閉め、本体カバー固定ノブを十分に締め付け固定してください。

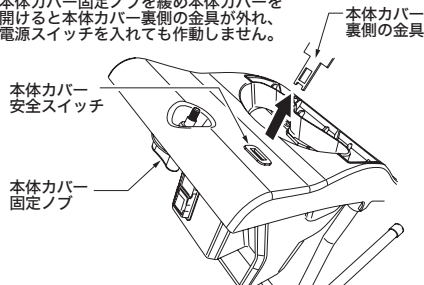
(5) モーター過負荷防止ブレーカーのリセットボタンを押し込んでください。

※リセットボタンは、電源スイッチを OFF にして、電源プラグを抜き1～2分間待ってから押し込んでください。

(6) 運転を再始動する際は、7 ページの「使用方法」の 1 粉碎作業 1⇒2 の手順でおこなってください。

図6 本体カバー安全スイッチ

本体カバー固定ノブを緩め本体カバーを開けると本体カバー裏側の金具が外れ、電源スイッチを入れても作動しません。



※本体カバー固定ノブを緩め開けたところ

図7 スイッチ説明図

本体カバー固定ノブ
しめる=時計回り
ゆるめる=反時計回り

モーター過負荷防止ブレーカー (リセットボタン)

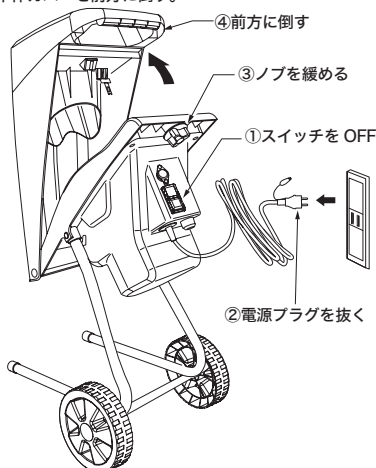


電源スイッチ OFF = 下を押す

図8 本体カバーの開閉方法

本体カバーを開ける

- ①電源スイッチを OFF にする。
- ②電源プラグを抜く。
- ③本体カバー固定ノブを緩める。
- ④本体カバーを前方に倒す。



本体カバーを閉める

逆の手順で本体カバーを閉めてください。本体カバー裏側の金具を差し込むように、正しくはめ込んでください。必ず本体カバー固定ノブを十分に締め付け固定してください。



警告 本体カバーを開け木屑等を取り除く際は、粉碎刃等でケガをしないようご注意ください。

粉碎刃のメンテナンス



警告



本体カバーを開ける場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いて回転盤の回転が止まったことを確認してください。電源スイッチを入れたまま、または回転盤の回転中は本体カバーを開けないでください。重大な事故の原因となります。

作業時は、保護具を着用してください。保護メガネや防塵マスクと丈夫な手袋をご使用ください。



交換作業の途中で、絶対に電源を入れないでください。重大な事故や故障の原因となります。

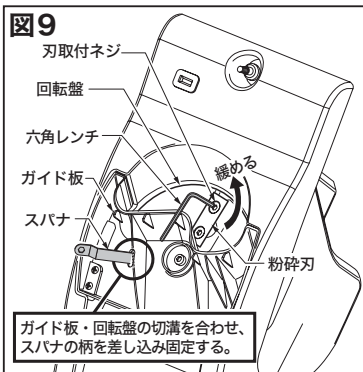
長期のご使用、またはご使用の頻度により粉碎刃が摩耗し十分に粉碎ができなくなる場合がございます。

粉碎が不十分な場合は、下記の手順で粉碎刃を交換してください。

※交換用粉碎刃のお取り寄せ、または交換修理をご希望の際は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

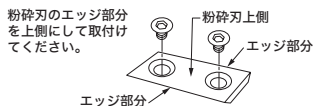
粉碎刃の交換方法

- 必ず電源スイッチを OFF にし、電源プラグを抜いてください。
- 本体固定ノブを緩め、本体カバーを開けてください。
- ガイド板と回転盤の切溝を合わせ、切溝に付属のスパナの柄を差し込み回転盤が動かないように固定してください。(図9)
- 付属の六角レンチ 4mm で刃取付ネジを緩めて粉碎刃を外してください。粉碎刃は回転盤の対角線上に2ヶ所あります。同じ手順で外してください。
※刃取付ネジは反時計回りに回すと緩みます。刃取付ネジの回す方向にご注意ください。
※刃取付ネジが固い場合は潤滑剤を塗布するか、六角レンチの端を市販のハンマー等で軽く叩いてください。
- 粉碎刃の取付けの際は、取り外しの逆の手順でおこなってください。
※粉碎刃の交換や回転盤の固定に使用した工具類は、本体内部に置き忘れないでください。
※刃取付ネジ・本体カバー固定ノブは、確実に締め付けて固定してください。

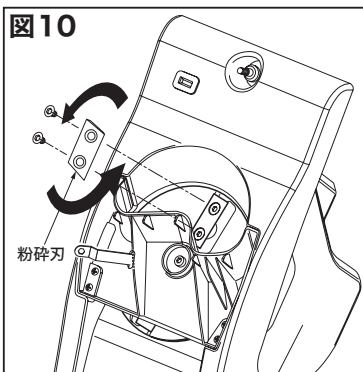


粉碎刃について

- 粉碎刃は両側使用可能です。片側が消耗したら180°まわし向きをかえ、逆側を使用してください。(図10)
※取付方向にご注意ください。(裏返しの取付けはできません)



- 粉碎刃の両側が消耗したら新しい粉碎刃に取り替えてください。
※YGS-30B 専用の粉碎刃(別売1セット2枚入)をご使用ください。



粉碎刃の向きのかえ方 (180°まわす)

保守と点検



警告



本機使用後、保守・点検・収納する時は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグを抜いてください。

保守・点検時には、必ず丈夫な手袋を着用してください。

保護具をつけてケガをしないように刃先等に気をつけて行ってください。

水洗いは絶対にしないでください。本機は電動機械です。故障・事故の原因になります。

1. 使用後は、丈夫な手袋を着用し本機の内外部の木屑・埃を取り除き、汚れや湿気を拭き取りください。
2. 本体の汚れがひどい場合は、薄めの石けん水(中性洗剤)を含ませた布をしぼって拭いてください。
※ガソリン・シンナー・ベンジン・灯油等は絶対に使用しないでください。
3. 掃除後はよく乾燥させてください。
4. 粉砕刃や回転盤等の金属部品には防錆スプレー等を塗布してください。
5. 使用後はお子様の手の届かない所で、鍵のかかる乾燥した場所に保管してください。

トラブルの原因と対策

症状	原因	対策
①モーターが動かない。	○電源プラグが抜けている。	●電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントに差し込んでください。又コンセントに通電しているか確認してください。
	○プラグコードが損傷している。	●直ちに使用を中止し修理依頼をしてください。
	○本体カバー固定ノブが十分に締めつけ固定されておらず、安全装置が働いている。	●本体スイッチを切り、電源プラグを抜き本体カバー固定ノブをしっかり締めてください。 ●本体カバーの取付けをさまたげている木屑等がある場合は、それらを取り除き本体カバーを正しく閉めてください。(8 ページ参照)
	○モーター過負荷防止ブレーカーが働いている。	●モーター過負荷防止ブレーカーが働いた場合の復帰方法の手順で、電源スイッチを切り電源プラグを抜き、リセットボタンを押し復帰させてください。(8 ページ参照)
②モーターが急に動かなくなった。 (作業時)	○無理な押し込み、木屑の詰まり等でモーター過負荷防止ブレーカーが働いた。 ※上記症状①の原因も確認してください。	●モーター過負荷防止ブレーカーが働いた場合の復帰方法の手順で、電源スイッチを切り電源プラグを抜き、木屑を取り除きリセットボタンを押し復帰させてください。(8 ページ参照)
③枝木が切れにくくなった。	○粉砕刃の消耗。	●本体スイッチを切り電源プラグを抜き、「粉砕刃のメンテナンス」の項目をお読みになり、刃の向きを換えるか新しい刃に取り替えてください。(9 ページ参照)
	○指定以外の延長コードを使用している。	●電源プラグをコンセントに直接差し込んでいただくか、指定の延長コードをご使用ください。(7 ページ参照)

このシュレッダーは細かく粉砕することが目的ではなく、容量を減らすことで処分しやすく、また燃えるゴミとして出しやすくするのが主目的の粉砕機です。

細い枝や葉っぱは細かく粉砕されません。つる草や雑草の処理はできません。